

大分大学教育学部附属特別支援学校

附属特別支援学校が求める教職員

- ◇自らの特別支援教育の専門性をブラッシュアップし、より質の高い授業づくりをめざす、意欲と行動力を持った方。
- ◇小・中学校・高等学校からの交流人事により、特別支援教育のスタンダードを学び、地域貢献しようという意欲のある方。
- ◇UDや合理的配慮について、より深く学びたい方。
- ◇チーム附特の一員となり、仲間とともに汗を流して学校の魅力アップを目ざしたい方。



附属特別支援学校の特色ある取組

1. 附特セミナーの開催⇒本校教職員及び地域の小、中学校等の先生方を対象とした合理的配慮や授業構想等についての研修実施
※セミナー講師・招聘した大学の先生 / 本校教員 / 本校のOB教員
2. 開かれた学校作り(グローバル人材育成やインクルーシブ教育の構築に向けて)
～社会への出口である高等部を中心にした実践～
 - ◇地域住民の方との連携⇒地域のお祭りへ参加しての作業製品販売(高等部)
 - ◇地域資源を活用した授業実践⇒公民館や図書館での作業製品販売やメンテナンス作業(高等部)
 - ◇国際交流学習⇒大分大学の留学生との交流活動(高等部)や附属学校のALTをまねいたクリスマス集会の実施(小学部)
 - ◇交流及び共同学習の促進⇒附属中学校との連携(中学部) / 大分西高との連携(高等部)
3. 活動に意欲的に取り組むための「授業づくり」の実践研究(PDCAサイクルを実働させた授業改善)
 - ◇新任の教員も特別支援教育の基礎・基本を学ぶとともに、より高い専門性を身につけられる研修体制を構築しています。



附属特別支援学校のオススメ情報

- ◇1年間をとおした変形労働制を導入しており、年間で12日の休み(変形休)を取ることができます。夏期休業中などに長期の海外旅行も計画できます。
- ◇附特もタイムカードを導入し、業務のスリム化を推進して残業時間が激減。ワークライフバランスがとれます。
- ◇県外研修に一年目から行くことができます(沖縄、北海道などどこでも大丈夫!)。複数回の県外研修もOK。